

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 }
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 次の記述は、「無線局」の定義である。電波法の規定に照らし、正しいものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線設備及び無線設備の操作を行う者の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。
2. 無線設備及び無線設備の操作又はその監督を行う者の総体をいう。
3. 無線設備及び無線設備を管理する者の総体をいう。
4. 無線設備及び無線従事者の総体をいう。ただし、発射する電波が著しく微弱で総務省令で定めるものを含まない。

〔2〕 次の記述は、「航空用DME」の定義である。電波法施行規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空用DME」とは、960MHzから1,215MHzまでの周波数の電波を使用し、航空機において、当該航空機から地表の定点までの を測定するための無線航行業務を行う設備をいう。

1. 飛行距離
2. 見通し距離
3. 地表距離
4. 飛行時間

〔3〕 無線従事者の免許が与えられないことがある者はどれか。次のうちから選べ。

1. 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者
2. 電波法の規定に違反し、3箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止され、その停止の期間が終了した日から2年を経過しない者
3. 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
4. 日本の国籍を有しない者

〔4〕 無線従事者がその免許を取り消されることがある場合に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

1. 不正な手段により無線従事者の免許を受けたとき。
2. 著しく心身に欠陥があつて無線従事者たるに適しない者に該当するに至ったとき。
3. 電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき。
4. 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔5〕 総務大臣が無線局の免許を取り消すことができるのは、免許人が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときか。次のうちから選べ。

1. 6箇月
2. 3箇月
3. 2箇月
4. 1箇月

〔6〕 航空局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 免許人の事務所の適宜な箇所
2. 受信装置のある場所の見やすい箇所
3. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
4. 業務書類を保管する適宜な箇所

航空特殊無線技士試験問題

法 規

- 〔7〕 次の記述は、呼出符号の使用の特例について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

航空局又は航空機局は、連絡設定後であって のおそれがないときは、当該航空機局の呼出符号又は呼出名称に代えて、総務大臣が別に告示する簡易な識別表示を使用することができる。ただし、航空機局は航空局から当該識別表示により呼出しを受けた後でなければこれを使用することができない。

1. 妨害
2. 途絶
3. 混同
4. 混信

- 〔8〕 次の記述は、遭難航空機局が遭難通信に使用する電波について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、誤っているものを次のうちから選べ。

1. 遭難航空機局は、F 3 E 電波 1 5 6 . 8 M H z を使用することができる。
2. 遭難航空機局は、遭難通信を開始した後は、いかなる場合であっても、使用している電波を変更してはならない。
3. 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がない場合には、航空機局と航空局との間の通信に使用するためにあらかじめ定められている電波を使用する。
4. 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がある場合にあっては、当該電波を使用する。

- 〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

1. 受信します
2. OK
3. どうぞ
4. 了解

- 〔10〕 無線電話通信において、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出符号又は呼出名称が不確実であるときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称を省略して、直ちに応答する。
2. 応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりに「貴局名は何ですか」を使用して、直ちに応答する。
3. 応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりに「誰かこちらを呼びましたか」を使用して、直ちに応答する。
4. 呼出局の呼出符号又は呼出名称が確実に判明するまで応答しない。

- 〔11〕 航空機の遭難に係る遭難通報に対し応答した航空機局のとるべき措置はどれか。次のうちから選べ。

1. 直ちに当該遭難通報を航空交通管制の機関に通報する。
2. 救助上適当と認められる無線局に対し、当該遭難通報の送信を要求する。
3. 付近を航行中の航空機に遭難の状況を通知する。
4. 直ちに遭難に係る航空機を運行する者に遭難の状況を通知する。

- 〔12〕 無線局が無線電話の機器の試験のため電波を発射しているときにしばしば確かめなければならないものはどれか。次のうちから選べ。

1. その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。
2. 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が10秒間を超えていないかどうか。
3. 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。
4. 他の無線局から停止の要求がないかどうか。